

ハンドボール部 全道新人大会 報告

平成 30 年度 第 58 回北海道高等学校ハンドボール新人戦

期 日 平成 31 年 1 月 15 日(火)～17 日(木)

会 場 北海道立総合体育センター

成 績 男子 全道ベスト 8

女子 全道準優勝

試合状況 【男子】

初戦は室蘭支部代表の静内高校でした。試合の序盤は固さのためか、ミスが多く見られました。しかし、試合が進むと固さもとれ、速攻やカットインシュートが決まりだし、前半を 15 - 4 で終了。後半に入ると、ゴールキーパーのナイスセーブに後押しされて、コンビプレイが決まり、結果 33 - 13 で勝利することができました。

2 回戦目は、第一シードの静修高校です。早い展開の静修高校に対して、西高はフォーメーションプレイで対抗しました。ディフェンスもよく足を動かし、守ったのですが、静修高校の攻撃に失点する場面があり、前半を 9 - 13 で折り返しました。後半に入り、西高も意地を見せ、10 分には 15 - 15 の同点に追いつきました。しかし、その後は静修高校の鋭いカットイン、速攻を守り切れず、結果 18 - 28 で敗退してしまいました。

《全道ベスト 8 の男子チーム》



【女子】

女子はシード権を持っていたので、2回戦目から出場しました。初戦は、帯広三条高校に勝利して勝ち上がってきた札幌静修高校です。前半は、西高の流れが良く、連続得点が続き、前半を9-5で終了しました。後半に入ると、静修高校のロングシュートやカットインシュートを決められ、15分には10-10の同点に追いつかれてしまいました。その後は、一進一退の展開となりましたが、最後は13-11で逃げ切ることができました。

準決勝は、釧路支部第一代表の釧路商業高校でした。前半は釧路商業高校のカットインプレイや早いパス回しからのサイドシュートを決められ、10-11と1点ビハインド。後半に入ってもシーソーゲームが続く展開。最後は、西高のポストシュートが決まり23-20の3点差で逆転勝利を収めることができました。

決勝戦は、札幌第一代表の月寒高校です。前半は月寒高校のペースで試合が進みました。前半の終了間際に、西高キャプテンの永浜がロングシュートを決め9-11で前半終了。後半に入り、西高も良く健闘しましたが、18-21の3点差で敗れてしまいました。

大会を通じて、保護者の皆様の多くの応援があり、大変感謝いたしております。ありがとうございました。次回、また頑張ります。

《全道準優勝の女子チーム》

